

## ～9月1日は防災の日～

# 災害に対する備えは大丈夫ですか

### 防災の日とは

毎年、9月1日は『防災の日』、防災の日を含む1週間を防災週間と定められています。

これは、1923年9月1日に発生した関東大震災に由来し、関東大震災の教訓を再認識させるとともに、自然災害の恐ろしさを風化させないために定められたものです。

### 災害への備えの重要性

大規模災害時には、消防や警察の出動要請が多いこと、道路の寸断により現場に近づくことが困難なこと等、これらの理由から、行政機関の助けである「公助」が行き届かない場合が多く、自分の身の安全を守る「自助」、家族や地域でともに助け合う「共助」が非常に重要となります。

また、近年では、地震に限らず風水害被害も各地に甚大な被害をもたらしており、日頃からの災害の備え、災害時の家族の集合場所を話し合うなどの被害を軽減させる対策が必要となります。

この防災週間をきっかけにご家庭の災害への備えを見直すとともに、地域の防災訓練に参加するなどして地域とのかかわり方を見直していただくことをお勧めします。

※風水害は、事前に被害想定を計りやすいため、確実な対策を心がけましょう

※地震は、いつ・どこで発生するか想定できませんので定期的に対策を検討しましょう

### 風水害対策

- ・早めに避難所へ避難する
- ・不要な外出を避け、適時、正しい情報を得よう努める
- ・住居の安全対策を強化する（窓ガラスの強化、飛散するおそれのある物品の撤去）

### 地震対策

- ・家具等の固定を行う
- ・非常用持出品を備え、定期的を確認する（食料品、電池等の確認）
- ・寝室の安全対策を強化する（ライト、履物等の準備）

## ～消防防災センターで災害体験してみよう～ 見て・触れて・体験して・楽しく学ぼう！

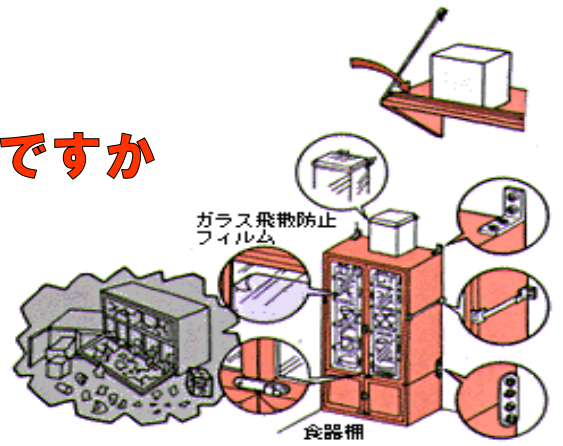
久留米広域消防本部庁舎2階の消防防災センターでは、「煙を充満させた室内からの避難」、「画面上の炎をめがけた消火器による消火」、「台風などの自然災害の恐ろしさを体感できる強風」などを親子で体験しながら防火・防災に関する知識を学べます。

災害への備えの第一歩として消防防災センターへ足を運んでみてはいかがでしょうか。他にも、ちびっ子防火衣、ミニ消防車などの子供向けコーナーも多数あります。

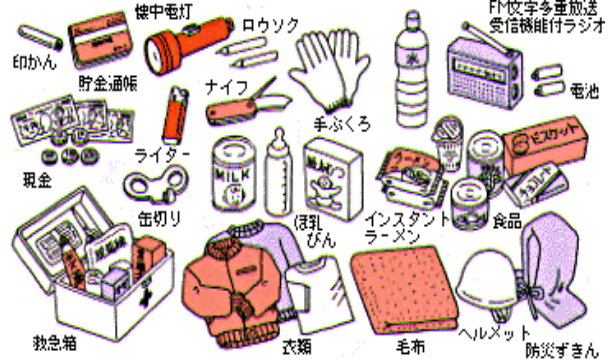


あなたの地域にも  
出向します！

東日本大震災、熊本地震等を体験することができます



【家具等の固定例】



【非常用持出品の例】

【施設内写真】



### 消防防災センター

開館時間：9:00～17:00（入館は16:00まで）  
休館日：毎週月曜日・第1火曜日・年末年始  
（ただし祝日となる場合は、その翌日）  
入館料：無料  
※10人以上の団体利用の場合は、あらかじめご連絡ください。

**TEL:0942-38-5194**